

# ランマン<sup>®</sup>P フロアブル

®は石原産業(株)の登録商標

芝生用

シアゾファミド水和剤

有効成分：シアゾファミド……9.4%、普通物

ピシウム病・  
赤焼病に!!



特長

## 1 ピシウム菌に優れた効果

ピシウム菌の菌糸生育を低濃度で特異的に阻害し、高い防除効果を示します。

特長

## 2 優れた耐雨性と残効性

散布後乾けば、降雨があっても安定した効果が得られます。また、残効性に優れ概ね2週間程度の残効が期待できます。

特長

## 3 次世代菌密度低減効果

孢子（遊走子のう、卵孢子）形成阻害効果により、次世代の感染源となる菌密度を低減します。

特長

## 4 新規な作用機作

既存剤とは異なる作用機作を有するので、フェニルアミド系などの薬剤耐性菌に対しても有効です。

## 既存剤とは異なる作用機作

有効成分のシアゾファミドは植物病原菌の細胞中微小器官のひとつであるミトコンドリア内膜上に存在するタンパク複合体の一つ（複合体III, Q<sub>i</sub>）に結合し、その酵素活性を阻害する結果、病原菌を死滅させることが確認されています。

### 芝（ベントグラス）の適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	※総使用回数
芝 (ベントグラス)	ピシウム病 赤焼病	200倍	0.1ℓ/m <sup>2</sup>	発病初期	6回以内	散布	6回以内
		400倍	0.2ℓ/m <sup>2</sup>				
		1,000倍	0.5ℓ/m <sup>2</sup>				

※シアゾファミドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。



# ランマンPフロアブルの使用時期

各種雪腐病  
褐色雪腐病

赤焼病  
ピシウム病

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

ランマンPフロアブルの使用適期

# ランマンPフロアブルの上手な使い方

▶▶▶ 発病前、又は発病初期に散布してください。



手軽に処理が  
出来ます!!

- ベントグラスに対する安全性が高い。
- 希釈時の粉立ちが無く、分散性が良い。
- 普通物です。

# ピシウム病菌とは

- 起源は水の中  
ピシウム属菌の仲間には川や池など水の中で生活、その中から植物を加害するピシウム病菌がうまれました。
- 過酷な生育環境を克服  
雪の下から夏の炎天下まで温度に適応して種が分化、極度の乾燥、栄養不良、など菌の生育に不適な環境下では菌糸や卵胞子で植物残渣(サッチ)中で耐久し、感染の機会を窺います。
- 生育好適な環境で急速な蔓延  
温度、湿度等の条件が揃った場合、無性生殖で遊走子のうから遊走子を放出、菌糸の伸長も早く急速に蔓延します。
- 芝にとって大切な根、地際部が大好き、地上部は立ち枯れ。  
水分条件下で遊走子は泳ぐ力を有し、根、莖葉部から、侵入します。莖葉部は水浸状で立ち枯れ症状を引き起こします。
- ほかの病害発生の引き金となります。  
炭疽病、葉腐病、細菌病などと複合感染(混合感染)します。



# ベントグラスのピシウム属菌による病害

分類	症状	色	病気の進行
低温性ピシウム (褐色雪腐病)		水浸状淡褐色 → 灰白色～淡桃色	根雪下～融雪期 でゆっくり蔓延
中温性ピシウム (ピシウム病)	根はあめ色、 莖葉部は 軟腐症状	暗緑色 → 赤褐色・黄褐色	水みちに沿い 蔓延
高温性ピシウム (赤焼病)		黄褐色～赤褐色 (早朝、健全部のふちに 灰紫色のスモーキー リングが見られる。)	高温過湿下で 急速に拡大

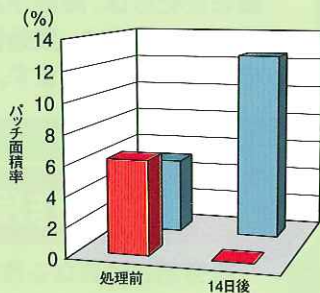
# 公式委託試験成績 【薬剤名:ランマンPフロアブル 希釈倍数:400倍 使用液量:0.2ℓ/㎡】

ランマンPフロアブル 無処理

## ピシウム菌

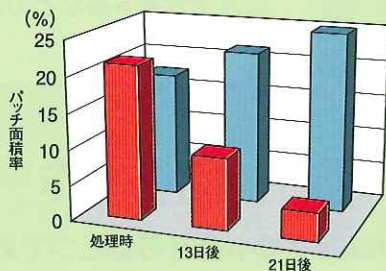
平成21年度委託  
東日本グリーン研究所 圃場試験

- 薬剤処理日 → 6月15日
- 防除率 → 100%



平成21年度委託  
関西グリーン研究所 圃場試験

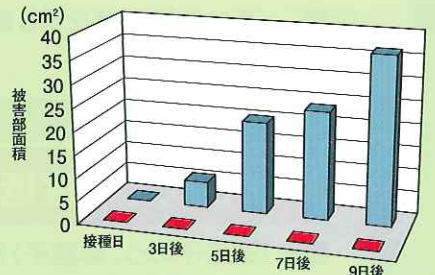
- 薬剤処理日 → 3月31日(1回目)
- 薬剤処理日 → 4月13日(2回目)
- 防除率 → 84%



## 赤焼菌

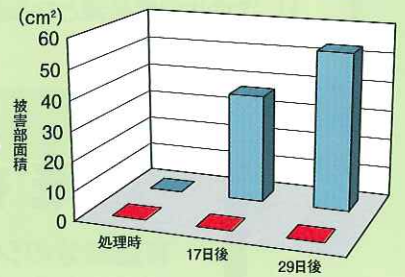
平成21年度委託  
関西グリーン研究所  
(ピシウム菌接種試験)

- 薬剤散布日 → 8月28日
- ピシウム菌接種日 → 8月31日
- 防除率 → 100%



平成21年度委託  
新中国グリーン研究所 圃場試験

- 薬剤処理日 → 7月31日
- 防除率 → 100%



## 芝(ベントグラス)の効果薬害の注意

- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬剤を調製し、使いきってください。
- 予防効果主体の剤なので、発病初期に散布してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## 安全使用上の注意

- かぶれやすい人は取り扱いに十分注意してください。
  - 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意してください。
  - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
  - 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さないでください。
  - 空容器は環境に影響を与えないように安全に処理してください。
- 保管 密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、涼涼な所に保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手が届く所には置かないでください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社  
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号  
ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/lbj/>

FreeDial 石原テレホン相談室 0120-1480-57

取り扱い